

# ガイドラインにかかる課題等(文化財分野)について

文化庁伝統文化課

## 文化遺産オンラインの概要

- ①全国の美術館・博物館等の所蔵品(文化財指定・未指定を問わず)、②国指定文化財(史跡名勝天然記念物、歴史的建造物、美術工芸品、無形文化財、民俗文化財等)について、概要・画像・動画・所在地図等の情報を国内外に広く発信することを目的に、文化庁と国立情報学研究所が運営するポータルサイト。

文化財分野の「つなぎ役」としての文化庁では、今後も文化遺産オンラインの充実を図りながら、ガイドラインの実現に向け、主に以下の課題に取り組んでいく。

### アーカイブ構築

#### 画像解像度の現状

- 文化遺産オンラインの作品詳細画面には、その作品の代表画像が表示される。画像の標準サイズは長辺300ピクセルで、登録画像のサイズにより600ピクセルと900ピクセルの拡大画像が表示される。

#### 課題

- 高品質な画像情報等が掲載されていないため、出版物等への掲載に適したものになっていない。

### アーカイブ共有

#### 著作権等表示の現状

- 文化遺産オンラインに掲載されている個々の情報(文字、写真、動画、イラスト等)は著作権の対象となっている、と表示している。

- 国指定等文化財に関する文字情報については、出典を記載の上、自由に利用できることとしているが、その表示を行っていない。

- クリエイティブコモンズライセンス等の国際基準に準拠した二次利用条件の表示がされていない。

### アーカイブ活用

#### 外部連携の現状

- 作品を登録した館が、登録作品を自館のホームページ等で検索して閲覧できるサービスを提供している。

- 本機能が必ずしも認知されておらず、外部機関との連携が進んでいない。

- 例えば、各館のサーバー負担軽減など、いかに連携によるメリットを周知していくか。